

I. 平成30年度の実績

グループ名称	清流高津川を育む木の家づくり協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0660	—	0593

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	・市民に向けた高津川流域材の啓発活動を行った
----	------------------------

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	無	開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	無	開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	無					
	内容						
取組み②	サポートの有無 2						
	内容						
取組み③	サポートの有無 3						
	内容						

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無	
内容		
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	無	
内容		
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	6 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	清流高津川を育む木の家づくり協議会			
H30採択グループ番号	07	—	0660	— 0593

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/22	名称	清流高津川を育む木の家づくり協議会	
	内容	2019年度グリーン化事業説明					
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称		
	内容						
	消費者説明会 2		開催日		名称		
	内容						
③ 工務店	工務店研修会 1	無	開催日		名称	タイプ	
	工務店研修会 2		開催日		名称	タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称	タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称	タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称	タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有					
	内容	事務局を中心として事業が無事完了できるようできるだけサポートする					
取組み②	サポートの有無 2						
	内容						
取組み③	サポートの有無 3						
	内容						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無			
内容				

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有			
内容	ZEHの推奨			
省エネ化に対する取組み (改修)				
内容				

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日		
内容				
研修計画 ②		実施日		
内容				

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	清流高津川を育む木の家づくり協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0660	—	0593

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・真冬の寒さは大変厳しく、長期に渡り寒さとの戦いが続くので、断熱材等級の地域区分5.6以上の性能を持たせる ・多雪地域を持つ地域なので屋根の雪対策をして、構造材の断面も一般より大きく屋根材についても和瓦を基本として勾配も4寸5分以上 ・基本手には「清流高津川を育む木の家づくり」設計の手引きを基に設計、施工 ・北に日本海、南に中国山地を持つ地域なので塩害に強く、季節風と雪対策を考慮した家の設計とし、耐震等級2以上 ・地域の景観保善の為に日本瓦葺きを基本としていますが、その中でも赤瓦又はオレンジ系の瓦を推奨している。又、太古からの地域の構造として使用してきたが今では大変少なくなった地松をできるだけ使っている
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	<ul style="list-style-type: none"> ・主要構造材に高津川流域材又は島根県産材を概ね70%以上すること ・地場産業でもある石州瓦での屋根葺きを基本とするが、施主の強い要望がある場合は他材での施工も可能とする。 			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有				
造作材	枠材、廻縁等	有				
板材	壁板、床板等	有				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	無	
内容		
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	・「清流高津川を育む木の家づくり」設計の手引きを基本理念として行っている	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省がH22.11.30に示した「長期優良住宅における記録の作成と保持について」に従って行う ・契約書の約款に有償、無償の範囲を明記しトラブル防止をする ・各社の物件登録を行い事務局から確認を取る 	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	無	
内容		
⑦ 見積りに関する統一ルール	無	
内容		
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	無	内容	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	無	内容	
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	無	内容	

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	清流高津川を育む木の家づくり協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0660	—	0593

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	・プランの中で和室を1室か畳コーナーの計画を行っている
② 和瓦の活用	有	内容	・地場の窯業所も和瓦、平板瓦、洋瓦を製作しており施主の要求に応じて使用している
③ 襖・障子の活用	有	内容	・デザインや機能を持った洋間への活用も行っている
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	・本年度も継続して石州半紙の壁材としての利用を考えていく ・屋根を石州瓦の赤で施工することをできるだけ行う

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	・和瓦での屋根とシックイと板壁をできるだけ外壁に取り入れてデザインするよう努力したい
② 地域の住まい方の継承	有	内容	・街の新築では少なくなってきたが、郊外と郷では農業が営まれ昔からの母屋と納屋が存在する。このようなしつらえを残していきたい
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	・市街地でも和瓦の赤での屋根材を推奨していきたい

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	